

宮路拓馬 国会通信

■ 法務委員会で参考人質疑

6月10日、衆議院法務委員会の「時代に即した新たな刑事司法制度の構築を目指す刑事訴訟法等の一部改正法案」の審議において、椎橋隆幸中大教授や周防正行監督（映画『Shall we dance?』の監督。写真下右）などを参考人としてお招きし、質疑を行いました。

鹿児島においては、志布志事件の記憶が新しいところですが、今回の改正では、取調べへの過度の依存からの脱却と証拠収集手段の適正化・多様化を図ることとしており、その一環として「取調べの可視化」が行われます。えん罪を生まない司法手続きの実現のため頑張っています！



(6月10日 衆議院第14委員会室)

■ 平和安全保障関連法案の審議続く

5月26日、後半国会の焦点である平和安全保障関連法案の審議が始まりました。この法案は、私が昨年11月まで内閣官房の安全保障・危機管理担当のポストにおいて携わっていたものです。

安全保障環境が厳しさを増す中、抑止力を高め、我が国の平和と安全を確保していくために必要不可欠なものであると考えています。立場は変わりましたが、本会議場の一丁目一番地においてその成立に向けて努めるとともに、地元鹿児島においても国民の皆様の理解を得られるよう説明を尽くしてまいります。



一丁目一番地。隣は元自民党幹事長加藤紘一先生のご令嬢である加藤結子先生。



(5月26日 衆議院本会議場)

自民党鹿児島県連青年局のメンバーとともに伊集院にて「あさかぜ号」上より平和安全法制の必要性について訴える。



(6月7日 全国一斉街頭行動)

■ 三島村営船、10月から 枕崎港と定期航路

本年10月より、枕崎港と三島村3島、鹿児島港を結ぶ定期航路が就航することになりました。父・宮路和明の時代から取り組んでいたものであり、5月18日付けで九州運輸局により事業申請が許可され、村営船「みしま」（1196トン、2000人乗り）が、原則月1回就航することになります。これにより三島村の島民の皆様の生活基盤が強化されるとともに、三島村と枕崎、ひいては南薩地域全体の交流促進が図られることが期待されます。

(参考) 航路図



■ 赤字ローカル線災害復旧支援議連の 事務局次長に就任



(5月22日 自民党本部)

5月22日、自民党の赤字ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟が開催

され、事務局次長を拝命するとともに、前会長であった父・宮路和明の下で法案作成が行われた鉄道軌道整備法改正案について質疑が行われました。

この法案は、台風等の自然災害によって被害を受けた路線がそのまま廃線とされないようにするための措置を講じようとするものです。地元・鹿児島でもJRが赤字路線を抱える中、路線維持のため、法案成立に向け頑張ってもらいます！

■ まぐろ・かつお漁業推進議連の 事務局次長に就任

5月26日、父・宮路和明が会長を務めていた自民党まぐろ・かつお漁業推進議員連盟において役員人事が行われ、事務局次長を拝命することになりました。

会合では、昨年7月の議連による「まぐろ・かつお漁業の維持発展に関する決議」の進捗状況について各省より説明があり、その後、関係団体から意見・要望の陳述がありました。

まぐろ漁業は串木野の、かつお漁業は枕崎の基幹産業であり、その推進は私にとって大切なテーマです。資源管理、船舶の老朽化、燃油高騰、船員問題など、まぐろ・かつお漁業を巡る環境は厳しいものがありますが、それぞれ具体的な対策を講じられるよう、取り組んでまいります！



(5月26日 自民党本部)